

2024年度

認定看護師教育課程（B課程）「感染管理」

特定行為研修を組み込んでいる教育課程

募集要項



三重県立看護大学地域交流センター
三重大学医学部附属病院（特定行為研修指定研修機関）

目 次

I 教育課程

1. 教育理念	1
2. 教育課程の目的	1
3. 期待される能力	1
4. 特定行為研修	1
5. 教育期間	2
6. 授業科目一覧	2
7. 修了要件	3
8. 修了証書の交付	3

II 入学選抜試験実施要項

1. 募集人員	4
2. 受験資格	4
3. 出願手続	4
4. 入学検定料	5
5. 受験票の発行	6
6. 入学試験日程と会場	6
7. 選抜方法及び選考基準	6
8. 受験上の注意事項	6
9. 合格発表	7
10. 情報の開示	7
11. 個人情報の取扱いについて	8

III 入学手続

1. 入学手続	9
2. 入学料・授業料	9
3. 入学辞退	10

IV 会場

1. 交通アクセス	11
2. 大学構内案内図	12

V 出願書類

1. 出願書類一式	13
2. 記入方法と注意事項	14

I 認定看護師教育課程（B課程）「感染管理」

1. 教育理念

人々の健康に関するニーズが複雑・多様化している中で、看護に対する社会的な役割は量から質へと転換してきている。本課程では、感染管理領域において高度で専門的かつ質の高い看護を提供できる人材の育成を目指す。

2. 教育課程の目的

- (1) 感染管理分野において、個人、家族及び集団に対して、医療関連感染予防のための高度な管理力及び高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- (2) 感染管理分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- (3) 感染管理分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- (4) 感染管理分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

3. 期待される能力

- (1) 施設及び地域の状況を評価し、医療関連感染予防・管理システムを組織的かつ戦略的に構築し推進することができる。
- (2) 施設の状況にあわせた医療関連感染サーベイランスを実践できる。
- (3) 感染リスクの高い患者あるいは感染徴候のある患者を多角的に捉え、臨床推論力と病態判断力に基づいた実践により、感染症の進行や重症化を予防し回復を促進することができる。
- (4) 感染管理分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職等へのコンサルテーションを行うことができる。
- (5) より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
- (6) 医療等を提供する場で働くあらゆる人々や患者とその家族に対し、倫理的配慮を行いながら医療関連感染予防と管理、抗菌薬の適正使用等における実践ができる。

4. 特定行為研修

三重県立看護大学地域交流センター認定看護師教育課程（B課程）「感染管理」は、特定行為研修指定研修機関である三重大学医学部附属病院（以下、「三重大学」という。）と共同して開講するものです。

特定行為研修に該当する科目（共通科目のうち「指導」「相談」「看護管理」を除く教科目と専門科目のうち特定行為研修区別科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「感染に係る薬剤投与関連」）にはe-ラーニングでの学習形態を活用します。

e-ラーニングの活用にあたっては、研修生の学習を促進するため、登校日を設けるなど教科目ごとの履修状況や理解度に応じた支援を行います。反復学習も可能であり、学習内容やシステムの操作・トラブル等の質問も対応します。

5. 教育期間 令和6年5月～令和7年2月（10か月）

年間スケジュール（予定）

5月、6月、7月前半	入学式・ガイダンス e-ラーニングによる学習 登校日
7月後半、8月、9月	集中講義・演習・科目試験
10月、11月	臨地実習（認定分野・特定行為分野）
1月前半	修了試験
2月	修了式

6. 授業科目一覧

(1) 教科目及び時間数

共通科目	時間数	専門科目（認定看護分野）	時間数
1. 臨床病態生理学	40 (30)	1. 感染管理学	15
2. 臨床推論	45 (34)	2. 疫学・統計学	30
3. 臨床推論：医療面接	15 (12)	3. 微生物学	30
4. フィジカルアセスメント：基礎	30 (23)	4. 医療関連感染サーベイランス	45
5. フィジカルアセスメント：応用	30 (23)	5. 感染防止技術	32
6. 臨床薬理学：薬物動態	15 (12)	6. 職業感染管理	15
7. 臨床薬理学：薬理作用	15 (12)	7. 感染管理指導と相談	15
8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30 (23)	8. 洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・マネジメント	15
9. 疾病・臨床病態概論	40 (30)		
10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15 (12)	(小計)	197
11. 医療安全学：医療倫理	15 (12)		
12. 医療安全学：医療安全管理	15 (12)		
13. チーム医療論（特定行為実践）	15 (12)		
14. 特定行為実践 (特定行為研修共通科目 小計)	15 (12) 335 (259)		
15. 指導	15		
16. 相談	15		
17. 看護管理 (小計)	15 380	専門科目 (特定行為研修区分別科目)	時間数
		1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22 (17)
		2. 感染に係る薬剤投与関連	39 (30)
		(小計)	61 (47)
		演習及び臨地実習	時間数
		統合演習	15
		臨地実習（認定看護分野）	150
		臨地実習（特定行為区分）	30
		(小計)	195

※共通科目のうち特定行為研修科目の1～14、専門科目の特定行為研修区分別科目にはe-ラーニングでの学習形態を活用します。

※認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用しています。ただし、特定行為研修でe-ラーニングでの学習形態となっている科目は（ ）内に60分を1時間とした「実時間」を記載しています。

(2) 授業形態

- ・講義・演習・実習：週5日間（月曜日～金曜日）を基本とします。
- ・共通科目と特定行為研修区分別科目はe-ラーニングを基本とします。
*集合研修が必要な演習・実習は、三重県立看護大学で実施します。
- ・認定看護分野・特定行為区分の臨地実習は、区別せず指定された実習施設で行うことを基本とします。

(3) 授業時間

1時限	9:00～10:30	4時限	14:40～16:10
2時限	10:40～12:10	5時限	16:20～17:50
3時限	13:00～14:30		

7. 修了要件

- (1) 三重大学医学部附属病院特定行為研修管理委員会における修了判定の議を経て、病院長が修了を認定していること
- (2) 当該分野の認定看護師教育基準カリキュラムに定める全ての教科目において、各教科目の履修すべき時間数の5分の4以上を出席し、かつ各教科目の試験に合格すること
- (3) 当該分野の認定看護師教育基準カリキュラムに定める全教科目（共通科目・専門科目・演習・臨地実習）を含む修了試験において、70%以上の成績を修めていること

8. 修了証書の交付

修了要件をすべて満たし、教員会の議を経て教育課程の修了を認定されたものには修了証書を交付します。

II 入学選抜試験実施要項

1. 募集人員

20名

2. 受験資格

受験要件は、次の各号を満たすものとする。

- ① 日本国の看護師免許を有すること。
- ② 上記の免許取得後、常勤（週40時間勤務）換算で通算5年以上の実務研修をしていること。（実務研修年数は令和6年4月30日現在とする。）
- ③ 通算3年以上は特定の看護分野の実務研修をしていること。特定の看護分野の実務研修内容については、日本看護協会が定める内容に準拠し、次のとおりとする。（実務研修年数は令和6年4月30日現在とする。）
 - ・通算3年以上、感染管理に関わる活動実績（感染対策委員会、ICT、リンクナース等）を有すること。
 - ・感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること。
 - ・医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。
 - ・現在、医療施設等において、専任又は兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。
- ④ 特定の看護分野における通算3年以上の実務研修については、勤務形態が常勤でない場合には、5400時間以上の実務研修をもって通算3年以上とみなす。
- ⑤ 本教育課程受講に関して施設長の了解が得られる者。

【留意事項】

- ① 研修期間が皆勤できる配慮を所属長と共に十分に相談ができていること
- ② 各科目においては履修すべき時間数の5分の4以上を出席できること
また、授業時間以上の多くの時間を授業の予習・復習・レポート提出、試験準備などに費やす必要があります。
- ③ e-ラーニング学習期間は、毎日取り組めるような環境が必要です。
- ④ 特定行為研修の修了者の受講科目に関しての免除はありません。全ての科目の受講となります。

3. 出願手続

(1) 願書受付期間 令和5年10月30日（月）～11月15日（水）（必着）

(2) 出願方法

出願者は、5ページの「出願に必要な書類」を一括して封筒に入れ、「簡易書留郵便」により出願してください。封筒に「認定看護師教育課程出願書類在中」と朱書きで明記してください。

(3) 出願先

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

三重県立看護大学地域交流センター 認定看護師教育課程事務局

(4) 出願に必要な書類

出願に必要な書類	作成上の注意
入学願書（様式1）	・14～19ページの「記入方法と注意事項」を参照のうえ、所定の様式に必要な事項を記入してください。記載不十分な場合は受理できませんので、ご注意ください。 ・出願様式は、(https://www.mcn.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/2024_出願書類一式.pdf) からダウンロードしてください。 ・勤務証明書は看護部長又は人事課で作成 ・推薦書は、所属長又は看護部長が作成し、厳封したもの
履歴書（様式2）	
実務研修期間及び内容（様式3-1）	
実務研修施設の概要（様式3-2）	
ケア改善実務事例要約（様式3-3）	
業績報告書（様式4）	
志望理由書（様式5）	
勤務証明書（様式6-1）	
推薦書（様式6-2）	
受験票（様式7）	
宛名票（様式8）	
入学検定料振込控え貼付票（様式9）	・A4サイズに縮小してください。 ・長形3号の封筒を各自用意し、受験票返送先の郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留郵便料金404円分の切手*を貼ってください。
看護師免許証のコピー	
受験票返送用封筒	

*令和5年10月1日より郵便物の特殊取扱料の改定のため434円分の切手へ変更します。

(5) 出願手続上の注意事項

- ①必要な書類が全てそろっていない場合には、受理できませんので、出願の際には、十分確認してください。
- ②出願受付後には、出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号の変更があった場合には、出願先まで連絡してください。
- ③入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

4. 入学検定料

(1) 入学検定料 55,000円（税込）

（振込期間：令和5年10月23日～11月13日）

(2) 支払方法

入学検定料は、金融機関等の窓口又はATM等で以下に記載する口座へ入金してください。なお、振込手数料は、出願者の負担となります。

振込口座：（名 義）公立大学法人三重県立看護大学理事長片田範子 （カナ名義）ダイ ミエケンリツカンゴダイガク （銀行名）三十三銀行（0154） （支店名）津中央支店（316） （種 別）普通 （口座番号）2812966
--

*一度受付をした出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返却できません。

5. 受験票の発行

- (1) 出願期間締め切り後、出願者全員の出願書類を審査のうえ、受験が認められた者に対して、令和5年11月下旬に受験票を郵送します。
- (2) 試験期日の6日前までに受験票が届かない場合には、出願先までお問い合わせください。

6. 入学試験日程と会場

(1) 試験日 令和5年12月3日(日)

(2) 試験科目及び実施時間

オリエンテーション	8:45～9:00
筆記試験	9:00～10:00
小論文	10:30～11:30
個人面接	12:00～

※災害その他の事情により、所定の試験日程による試験実施が困難になった場合は、本学ホームページ(<https://www.mcn.ac.jp>)でお知らせしますので、必ず確認するようにしてください。

(3) 試験会場

三重県津市夢が丘1丁目1番地1
三重県立看護大学 (12・13ページ参照)

(4) 当日持参物品

受験票 筆記用具

(5) 感染対策

感染症対策として、各自マスクを着用していただきますようお願いいたします。
発熱・体調不良の方は、受験をお断りします。入学試験の追試験は実施しません。

7. 選抜方法及び選考基準

書類審査、筆記試験、小論文、面接試験の内容を総合的に判定し、認定看護師教育課程に設置する入試委員会において審議のうえ、決定します。

ただし、選考にあたって、合格判定基準を満たす三重県内の医療・介護施設等の在勤者を優先する場合があります。

8. 受験上の注意事項

- ①試験に関する諸注意を行いますので、8時40分までに試験室に入室してください。入室は8時00分からできます。
- ②筆記試験開始後、20分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長はしません。
- ③本学が実施する筆記試験、小論文、面接試験のうち、1つでも受験しない者は、入学者選抜の対象から除外します。
- ④集合時間・場所の案内については、受験票とともに送付します。
- ⑤当日は「受験票」、「Bの黒鉛筆」、「消しゴム」を必ず持参してください。

- ⑥試験の際は机の上に「受験票」、「Bの黒鉛筆」、「消しゴム」、「鉛筆削り」、「時計」、「眼鏡」以外の物は置かないでください。
- ⑦携帯電話や電卓等の電子機器類は、アラームの設定を解除し電源を切って、かばん等に入れてください。また、試験が全て終了するまで、携帯電話や電卓等の電子機器類の使用は一切禁じます。
- ⑧当日、受験票を忘れた者は、速やかに受験票の再発行手続を行ってください。また、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑨入室終了後は、学外に出ることができませんので、必要に応じ昼食等を各自持参してください。大学構内で昼食等の購入はできません。
- ⑩試験会場では監督員等の指示に従ってください。
- ⑪受験者数によっては、面接終了時間が遅くなる可能性があります。
- ⑫本学は試験会場及び待合室を含め、キャンパス内全面禁煙となっています。

9. 合格発表

(1) 発表日 令和5年12月20日(水) 13時

(2) 発表方法

合格者の発表は、本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛てに合格通知書を送付します。ホームページによる合格発表は、受験生の便宜を考慮した補助的な方法であり、悪意のある侵入者による内容の書き換え等の被害を完全に防ぐことができないため、本人宛てに送付する合格通知書で正式に確認してください。(合格通知書は、合格発表日に発送するため、発表日当日に届くものではありません。)

なお、電話等による問い合わせには一切応じませんので、ご了承ください。

また、合格者に加えて若干名の補欠合格者を発表します。発表方法は、合格者と同様です。

(3) 追加合格者について

補欠合格者は12月20日発表の合格者の入学手続状況により、募集定員に欠員が生じた場合に限り、順次入学意志を確認したうえで追加合格者とします。入学意志の確認は、令和6年1月16日(火)13時以降に本学から電話により行いますので、翌日10時までに入学者か辞退かをご連絡ください。

なお、本学からの連絡がない場合は、追加合格とはなりません。

※入学意志の確認は、履歴書に記載された「住所」又は「所属施設」への電話により本人に直接行います。

(4) 2次募集について

合格者が定員に満たない場合、2次募集を実施する場合があります。

10. 情報の開示

入学試験の結果を知りたい方は、開示請求ができます。

(1) 開示請求ができる範囲

筆記試験と小論文の合計点

(2) 開示請求できる期間

合格発表日から1カ月後まで

(3) 開示方法

試験結果の開示請求は、郵送でのみ受け付けます。

希望者は、下記の「請求に必要な書類」を一括して封筒に入れ、提出してください。

(4) 請求に必要な書類

請求に必要な書類	作成上の注意
三重県立看護大学地域交流センター認定看護師教育課程「感染管理」入学者選抜試験結果に係る開示請求書	三重県立看護大学ホームページ (https://www.mcn.ac.jp) より様式をダウンロードし必要事項を漏れなく記入してください。
受験票	受験票原本を提出してください。(コピー不可)
返送用封筒	長形3号の封筒に、返送先の郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留郵便料金404円分の切手*を貼ってください。

*令和5年10月1日より郵便物の特殊取扱料の改定のため434円分の切手へ変更します。

(5) 申請先

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1

三重県立看護大学地域交流センター 認定看護師教育課程事務局

TEL : 059-233-5658

e-mail : kansen@mcn.ac.jp

11. 個人情報の取扱いについて

本学では、入学者選抜等を通して大学が保有することになる個人情報を、「三重県個人情報保護条例」並びに「公立大学法人三重県立看護大学が保有する個人情報の保護等に関する規程」等により適正に管理します。

なお、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、下記の業務に利用します。

- ①入学者選抜（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理、合格発表、通知等）にかかる業務、入学手続にかかる業務、入学者選抜方法の調査・研究等の入試事務及び付随する業務
- ②入学に伴う事務（学籍、修学指導等）、研修生支援事務（健康管理、奨学金申請等）、授業料等の収納事務及び付随する業務

Ⅲ 入学手続

1. 入学手続

(1) 入学手続期間 令和5年12月25日(月)～令和6年1月15日(月)(必着)

(2) 入学手続方法

入学手続には、誓約書、保証書、同意書、本学受験票、写真(縦4cm×横3cmでスナップ写真不可)等の書類の提出と、入学料等の納付が必要です。(様式は合格者に別途ご連絡します。)

手続書類の提出は、「簡易書留郵便」により行ってください。

(3) 入学手続先

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

三重県立看護大学地域交流センター 認定看護師教育課程事務局

TEL: 059-233-5658

(4) 入学手続上の注意事項

- ① 入学手続期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類及び入学料が全てそろっていない場合には、受付できませんので、書類提出の際には、十分確認してください。
- ③ 一度受付した入学手続書類及び入学料は、返却しません。

2. 入学料・授業料

入学手続の際には、下表の入学料を納付する必要があります。

区分	金額	期限	備考
入学料	三重県内在住者 110,000円(税込)	入学手続時に納付	入学料は入学手続時にお知らせする指定の口座へ入金してください。所定の様式へ振込を確認できる書類(利用証明書等)を貼り付けて提出してください。(コピー可)
	三重県外在住者 165,000円(税込)		
授業料	935,000円 (税込・年額)	5月31日(金)	授業料は入学手続後にお知らせする指定の口座へ入金してください。 なお、振込手数料はご負担願います。 ※分割払い(2回)は可能です。
	【分割払い】 1回 467,500円	5月31日(金)	
	2回 467,500円 (税込)	10月31日(木)	
その他 経費			教科書代が別途必要になります。 また、各自で看護職賠償責任保険制度に加入していただきます。

※「三重県内在住者」とは次のいずれかに該当する者とします。

- ・入学手続きを行う日の属する月の初日において、引き続き1年以上三重県内に住所を有している者
- ・三重県内の医療・介護施設等に勤務する出願資格を満たす看護師

3. 入学辞退

本教育課程に入学手続を完了した方が入学を辞退する場合は、本教育課程事務局へ速やかに連絡してください。その後、入学辞退届（本学所定の用紙）によって、入学辞退の手続をしてください。なお、納付した入学料は返還しません。

所定の期日までに入学辞退届を提出しないときは、授業料を納付する義務が生じますのでご注意ください。

IV 会場

1. 交通アクセス

(1) 試験会場

三重県立看護大学（三重県津市夢が丘1丁目1番地1）

(2) 公共交通機関の場合

【電車（津駅まで）】

名古屋方面より：「名古屋駅」から「津駅」まで JR快速みえ又は近鉄特急で約50分

大阪方面より：「大阪難波駅」から「津駅」まで 近鉄特急で約90分

【津駅から】

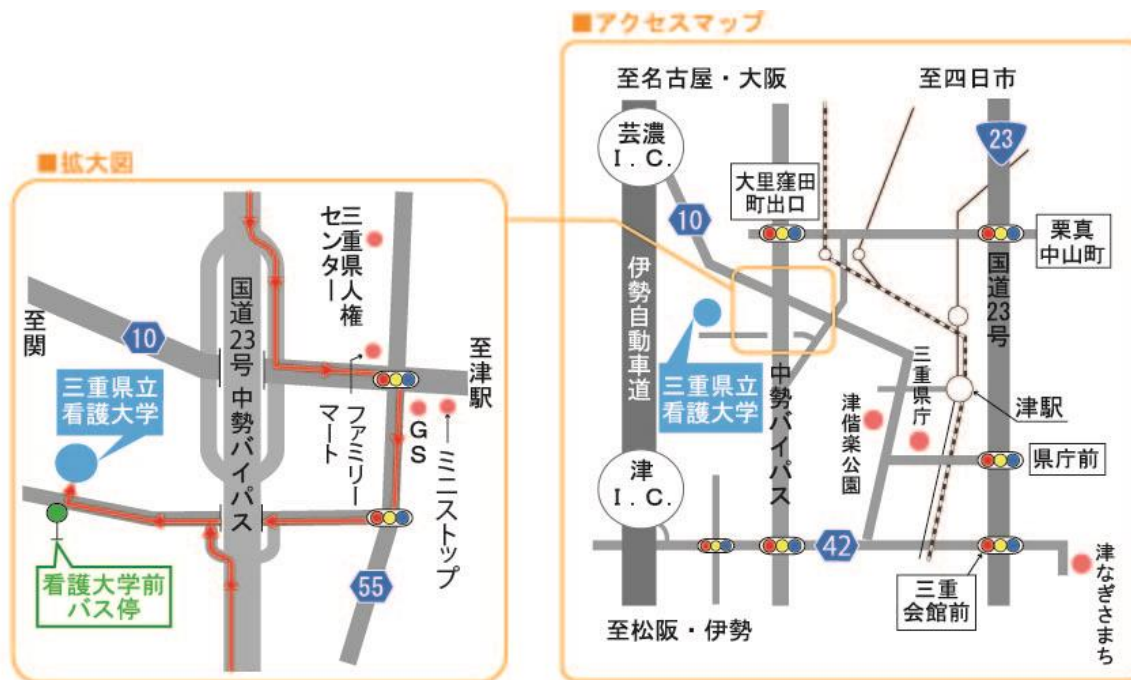
バス：「津駅」西口バスのりば1番から三重交通バスで「夢が丘団地」行き「看護大学前」バス停車 徒歩1分

タクシー：「津駅」西口より約10分

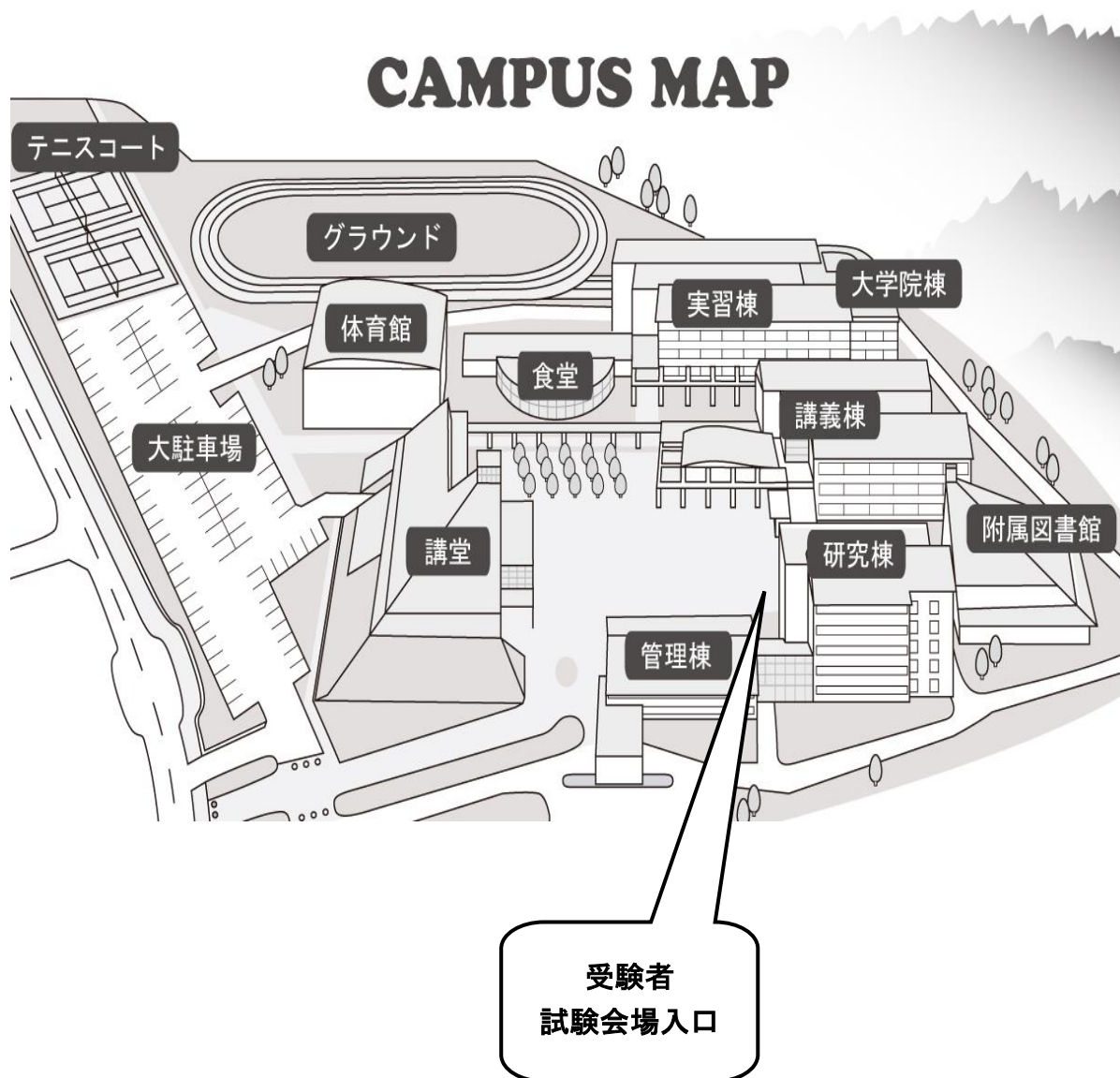
(3) 車の場合

伊勢自動車道「津」ICより約10分

伊勢自動車道「芸濃」ICより約15分



2. 大学構内案内図



2. 記入方法と注意事項

- ①年号は全て西暦で記入してください。
- ②いずれも必要事項を漏れなく記入してください。
- ③様式1・2・5は必ず自筆で記入してください。
- ④自筆で記入した内容を訂正する場合は二重線及び訂正印を使用してください。
- ⑤受験番号の欄には何も記入しないでください。

様式	出願に必要な書類	記入方法と注意事項
1	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 氏名は自署してください。 ・ 電話番号は市外局番から記入してください。
2	履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 所属機関は正式名を記入、現在、勤務していない場合は離職中と記入してください。 ・ 病床数は施設全体の数です。 ・ 免許取得年月日の欄は、看護師免許の取得年月日、免許番号を記載してください。 ・ 学歴は高等学校卒業からとし、学校名は学科、課程を含め正式名称を記入してください。進学課程を卒業している場合は、准看護学校も明記してください。
3-1	実務研修期間及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ P 1 6 の記入例を参照してください。 ・ 記入欄が不足する場合は、様式をコピーして使用してください。
3-2	実務研修施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ P 1 7 の記入例を参照してください。 ・ 記入欄が不足する場合は、様式をコピーして使用してください。
3-3	ケア改善実務事例要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ P 1 8 の記入例を参照してください。
4	業績報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 研修会等の業績は、感染管理に関する研修会への参加等を記入してください。 ・ 看護研究等の業績は、学術誌投稿業績や学会発表等を記入してください。自施設の院内研究発表などは含みません。 ・ P 1 9 の記入例を参照してください。
5	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に400字以内で記入してください。

様式	出願に必要な書類	記入方法と注意事項
6-1	勤務証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 施設長あるいは看護部長が作成してください。 ・ 看護経験年数が通算5年以上を満たすことがわかるように記入してください。なお、現在の施設だけで5年を満たさない場合は前施設の証明書も必要になります。 ・ 感染管理関連分野で勤務した部署の特徴と実績年数を具体的に記入してください。 <p><例> 整形外科病棟（リンクナース）2年間 手術室、中央材料室（看護部感染対策室）3年間</p>
6-2	推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属長又は看護部長が作成し、厳封したもの ・ 推薦者氏名は自署してください。
7	受験票 ※両面印刷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 必ず両面印刷してください。 ・ 写真を貼付してください。（履歴書と同じ写真を使用） <p>※スナップ写真不可</p>
8	宛名票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 宛名票は合格通知送付等の連絡用に使用しますので、3つの欄全てに郵便番号、住所、氏名を記入してください。
9	入学検定料振込控え貼付票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の様式に入学検定料の振込を確認できる書類（利用証明書等）を貼り付けてください。コピーでも構いませんが、振込金額、振込人氏名が明記されているものに限りです。

※ 上記様式と合わせて、下記様式を各自で準備いただきご提出ください。

出願に必要な書類	作成上の注意
看護師免許証のコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師免許証の写しをA4判に縮小してください。
受験票返送用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定形封筒（長形3号 120 mm×235 mm）に<u>簡易書留郵便料金 404円分の切手*</u>を貼付し、郵便番号、住所、氏名を明記したものを準備してください。 <p>*令和5年10月1日より郵便物の特殊取扱料の改定のため434円分の切手へ変更します。</p>

記入例

※受験番号：

実務研修期間及び内容

1. 実務研修期間及び内容について（※西暦で記載する。）

1) 認定看護分野における看護実務研修期間（2024年4月30日時点）

期間 (休職期間)	勤務年数 (休職年数)	所属施設名及び職位	実務研修内容
2014年4月～2018年6月 (年月～年月)	4年3ヵ月 (年ヵ月)	所属施設名：三看大病院 部署名：救命救急・集中治療センター 職位：副師長	2年間感染対策委員会委員として活動
2018年9月～2022年4月 (年月～年月)	3年7ヵ月 (年ヵ月)	所属施設名：夢が丘病院 部署名：手術室・中材 職位：副師長	3年間ICTに所属
年月～年月 (年月～年月)	年ヵ月 (年ヵ月)	所属施設名： 部署名： 職位：	
年月～年月 (年月～年月)	年ヵ月 (年ヵ月)	所属施設名： 部署名： 職位：	
合計	7年10ヵ月	※合計へは休職年数を含まない勤務年数を記載してください。	

2) 認定看護分野以外での看護実務研修期間（2024年4月30日時点）

期間 (休職期間)	勤務年数 (休職年数)	所属施設名	職位
2001年4月～2003年8月 (年月～年月)	2年5ヵ月 (年ヵ月)	みかん病院	スタッフ
2004年4月～2011年3月 (2006年2月～2007年3月)	7年0ヵ月 (1年2ヵ月)	三看大病院	スタッフ
2011年4月～2014年3月 (年月～年月)	3年0ヵ月 (年ヵ月)	三看大病院	主任
年月～年月 (年月～年月)	年ヵ月 (年ヵ月)		
合計	11年3ヵ月	※合計へは休職年数を含まない勤務年数を記載してください。	

勤務形態が非常勤の場合、「非常勤スタッフ」と記入する。

勤務形態が非常勤の場合、「実質勤務時間 150 時間」を「1ヶ月」相当として換算し、勤務月数を割り出す。
「150 時間」＝「7.5 時間（実質勤務時間）×20 日

2. 認定看護分野に関連する看護実務研修内容の概要

「1-1) 認定看護分野における看護実務研修期間」における認定看護分野に関連した担当実績（通算の事例数）	感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績 5 例
--	---------------------------------

「特定看護分野の実務研修内容の基準」に記載の看護実績の通算事例数を記入する。

実務研修施設の概要

1. 認定看護分野に関連する看護実務研修施設の概要

(※最低 3 年間の認定看護分野の実務研修期間における所属施設の概要について記載する。施設が複数の場合、施設ごとに記載する)。

項目	施設 1	施設 2	施設 3
施設名	三看大病院	夢が丘病院	
認定看護分野に関連する年間症例数（入院・外来を含む延べ人数）	中心ライン関連血流感染サーベイランス 尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス 人工呼吸器関連肺炎サーベイランス 手術部位感染サーベイランス 薬剤耐性菌サーベイランス コンサルテーション件数約 1,000 件/年	中心ライン関連血流感染サーベイランス 手術部位感染サーベイランス 薬剤耐性菌サーベイランス コンサルテーション件数約 350 件/年	
認定看護分野に関する施設基準の届出の種類	感染防止対策加算 1 感染防止対策地域連携加算 抗菌薬適正使用支援加算	感染防止対策加算 1 感染防止対策地域連携加算 抗菌薬適正使用支援加算	<p>・「感染管理」分野の場合は、「実施しているサーベイランスの種類」「感染コンサルテーションの年間例数」等を記入する。</p> <p>・該当する項目がない場合でも出願は可能であり、空欄のままとする。</p>
認定看護分野に関する専門の部門（部署・外来・病棟等）の有無とその名称	有：医療安全管理部	有：感染対策室	
認定看護分野に関連する認定看護師・専門看護師の人数とその分野名称 ※ 0名の場合は、申請者自身が当該分野の実務研修において主に指導を受けた方の職位を記載する。	感染管理認定看護師 3 名	感染管理認定看護師 2 名	

ケア改善実務事例要約

「(様式3-1) 1-1) 認定看護分野における看護実務研修期間」に記入した期間に自身が中心となって実施したケアの改善実務事例 1例の要約	
取り組んだ期間	2019年4月1日～2020年3月31日
取り組んだ場所 (部署、施設など)	手術室 中材
ケア改善の事例 ※改善前の状況と問題点、計画、実施、評価について記入する	<p>針刺し防止</p> <ul style="list-style-type: none">・改善前の状況と問題点 ○○○○・計画 △△△△・実施 □□□□・評価 ◇◇◇◇ <div data-bbox="874 902 1286 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"><p>左記の項目について、ケア改善の事例に沿って記入し、1ページにまとめる。</p></div>

記入例

※受験番号：

業績報告書

1. 研修会等の業績（感染管理に関する研修会への参加等）

・令和3年度感染管理実践能力向上研修

実施主体：三重県立看護大学（三重県受託事業）

参加日程：2021年7月24日・8月7日・8月28日・9月25日・10月9日

- ・研修名、実施主体名、参加日程、を記入する。
- ・書ききれない場合は、主要な業績を記入する。
- ・業績がない場合には、「特記事項なし」と記入する。

2. 看護研究等の業績（感染管理に関する学術誌投稿業績や学会発表）

<学術誌投稿業績>

三重良子、伊勢太郎；感染管理における医療者の困難感に関する研究、日本環境感染学会誌、8巻1号、p13-19、2015

- ・業績がない場合には、「特記事項なし」と記入する。
- ・書ききれない場合は、主要な業績を記入する。
- ・自施設の院内研究発表は記入しない。